

多久市在宅介護支援センター 天寿荘だより



令和6年 7月号 No.401

梅雨入りが遅かったので、梅雨明けはまだまだ先のようです。さて、高齢になると背中が曲がる、膝が曲がるなどの身体の変化でバランスが悪くなり転びやすくなります。転倒事故の多い場所は「浴室」「廊下」「階段」「玄関」など転倒の危険度が高い場所は多くあります。そこで転ばないための心がけについてお知らせします。



(6月の活動件数 74件)

●申請手続き代行

・配食サービス・見守り事業	1件
・生活管理指導員派遣	0件
・生活管理短期宿泊	0件
・緊急通報システム	0件
・紙おむつ支給申請	0件

●訪問・相談業務

・高齢者実態把握	0件
・医療・介護に関すること	67件
・その他	6件

介護や生活の上でお困りのことがあれば、
いつでもご相談ください。

天寿荘 電話74-3100
天寿荘在宅介護支援センター 直通74-4818
坂井賢一 江口千昭 松岡小織 鷲崎秀子



天寿荘居宅介護支援サービス事業所便り

は つ ら つ

令和6年7月号 No.208

転倒事故の約半数は住み慣れた自宅で発生しています

《 浴室 》



- ① 椅子に座って着替え
- ② 入口の段差が高い場合は、すのこやスロープで段差を小さくする
- ③ すべりにくい床材にするか、すべり止めマットを敷く
- ④ 手すりを取り付ける

《玄関》



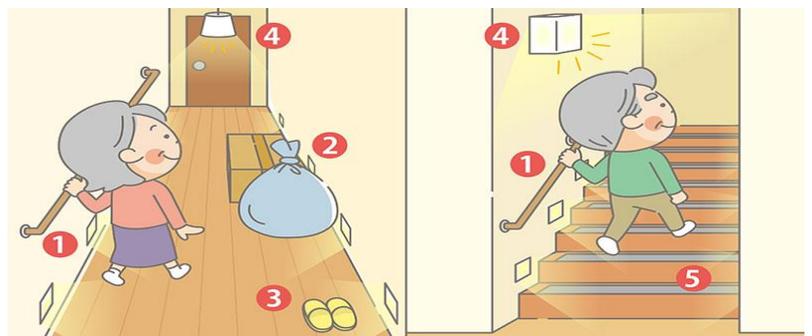
- ① 手すりをつける
- ② 玄関マットの下には滑り止めを敷く
- ③ 靴の着脱のために椅子を置く
- ④ 上がりかまちが高い場合は踏み台を

《居室》



- ① ベッドを壁に面するように配置し片方からの転落リスクをなくす
- ② ベッドサイドと呼ばれる柵を利用する
- ③ 万が一、転落しても衝撃が緩和できるような低床のベッドに変更する

《廊下・階段》



- ① 手すりをつける
- ② 床に物を置かない
- ③ 転倒の原因になる滑りやすい靴下やスリッパは使用しない
- ④ 足元がよく見えるよう照明を明るくする
- ⑤ 階段にすべり止めをつける